



わたしたちの食べ物は

どうなっているの？

支えられているの？

——世界と日本の農業の現状と課題

スーパーやコンビニ、外食チェーンで、私たちはいつでも気軽に食べ物に接することができます。その一方で、農と食のつながりはますます「ブラックボックス化」しています。

実は、食と農をめぐるのは、大量生産とグローバル化が進むことで、安全・安心への懸念や農業・農村の衰退、貧困・飢餓、気候変動等、多くの問題が山積するようになっていきます。このような中、国連をはじめ世界では「小規模家族農業」が改めて注目されるようになっていきます。

今回は、日本における家族農業研究の第一人者である関根佳恵さんをお招きして、私たちの食と農の現状と課題をお話いただきます。

開催日時

2022年 **2月20日(日)** 14:00~16:00

会場

高知市立自由民権記念館民権ホール

(高知市棧橋通4丁目14-3) ※駐車場の駐車可能台数は60台です。

参加費

無料 一般公開の講演です。会員外の方もぜひご参加ください。

講師



愛知学院大学経済学部准教授

関根佳恵さん

1980年神奈川県生まれ。高知大学農学部卒、京都大学大学院経済学研究科修了、立教大学助教を経て現職。博士(経済学)。世界食料保障委員会(CFS)専門家ハイレベル・パネルメンバー、国連食糧農業機関(FAO)客員研究員、家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン常務理事等、家族農業のオピニオンリーダーとして活躍。

リモート講演と
なっております

主著に『13歳からの食と農—家族農業が世界を変える—』かもがわ出版(2020年)『アグリビジネスと現代社会』(共編)筑波書房(2021年)『The Contradictions of Neoliberal Agri-Food: Corporations, Resistance, and Disasters in Japan』(共著)West Virginia University Press 2016.

お申し込み



NPO法人 土といのち事務局

電話・FAX・メールでの受付

電話 | 088-832-1752
088-832-1109
FAX | 088-803-6120
メール | k-tuchi@sunny.ocn.ne.jp



申し込み締め切り

2/17 [木]

携帯電話での受付

携帯電話 | 080-4030-1752



申し込み締め切り

2/20 [日]

zoomによるリモート参加の受付

リモート希望の方は
<https://onl.tw/9uppNft> から
登録手続きを行ってください。
QRコードからも手続きできます。
登録後、ミーティング参加に関する
情報の確認メールが届きます。



持続可能(サステイナブル)な暮らしを考えるシリーズについて

「安全な食と農と環境を守る」というNPO法人土といのちの運営理念に基づいた学習活動の一環として、今年度は4回シリーズで講座を一般公開して開催しています。これまで第1回では、プラスチックとゴミ問題、第2回では、高知県の自然を生かした暮らしのあり方や文化的景観、第3回として持続可能で安全な衣類や寝具を取り上げました。今回は第4回の企画です。多くの皆さまの参加を期待しています。

なお、このシリーズは「令和3年度高知縣市町村等消費者行政推進事業費補助金」の助成を受けています。



※ 新型コロナ感染拡大防止のため、会場ではマスクの着用・検温などにご協力ください。

※ 高知県/高知市で「非常事態」「まん延防止」等の宣言が出た場合は、リモートのみで実施します。

